

第14回アルコセミナー

< 開催日 5月19日(水) >

■会場 あのつピア (中勢北部サイエンスシティ)
津市あのつ台4丁目6番地1 (地図裏面参照)

■開催内容

【Aコース】

「三重県景観計画と色彩ガイドライン」

三重県県土整備部景観まちづくり室

講師 副室長 森川 成 主幹 福田 浩之

時間 13:00～13:50

【Bコース】

「安全安心/景観製品 f-LINEシリーズ」

株式会社コトブキ

講師 藪本 浩次

時間 14:00～14:50

【Cコース】

「メタルジョイント橋梁用伸縮装置」

秩父産業株式会社

講師 菅原 隆広

時間 15:00～15:50

【Dコース】

「再強フェンス既設落石防護柵補強工法」

株式会社プロテックエンジニアリング

講師 西田 陽一

時間 16:00～17:00

※お申し込みはE-mailまたはFAXにてお願い致します。

※技術者継続教育(CPD)参加証発行(3.5H×0.5)

※参加費は無料です。

《お申し込み期限 5月14日(金)》

アルコ株式会社 (担当:青木・田村)

〒514-0823 津市半田160番地

TEL:059-213-8811/FAX:059-213-8880

E-mail:tamura@alcoinc.co.jp

《FAXにてお申し込みの場合は、下記をご記入の上、ご返信ください。》

貴社名		(希望コースに○印)	(資料のみ希望)
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			
お名前		A・B・C・D	
E-mailアドレス			

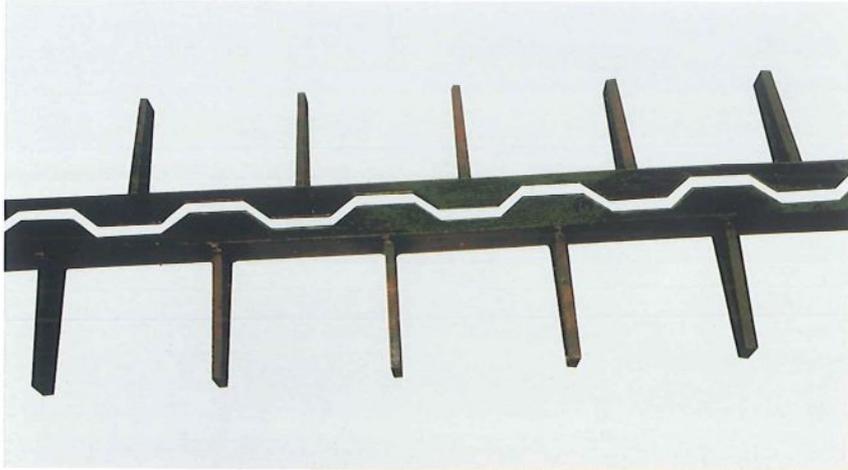
案内図



【あ の つ ピ ア】 〒514-0131 津市あ の つ 台4丁目6番地1
TEL 059-236-3104

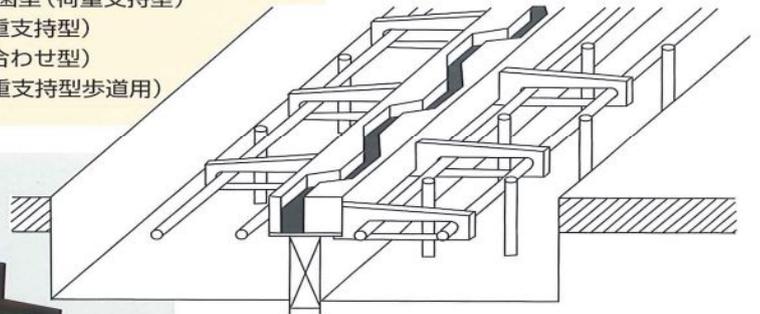
メタルジョイント

橋梁・高架道路橋用伸縮装置



構造及び形状

本体は鋼製ブロックを使用しています。(Y C型)
Y C型：鋼製ブロック、歯型 (荷重支持型)
K C型：鋼製、歯型 (荷重支持型)
S C型：鋼製、直線 (突合わせ型)
L C型：鋼製、直線 (荷重支持型歩道用)



特長

1. 耐久性抜群

本体は、一般構造用圧延鋼材 S S 400 (JIS G 3101) のブロック形状の為、シンプルな構造でかつ強固です。

2. 走行性良好

路面に伸縮装置本体が表われる面積がたいへん小さく、フィンガー形状である為、走行車輛の受けるショックは極小です。

3. 騒音皆無

内部に音の発生源がなく、ほとんど騒音は、発生しません。

4. 漏水防止

各伸縮量に対応する良質の弾性止水材を用いておりますので、漏水の心配は、ありません。

5. ランニングコスト優良

本体が強固の為、裏込材が破損するまで本体は壊れません。
(1985年から発売開始)

秩父

秩父産業株式会社

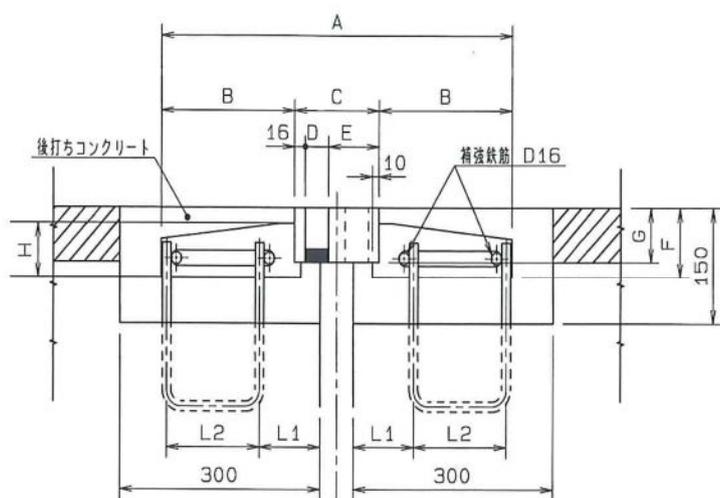
メタルジョイント

橋梁・高架道路橋用伸縮装置

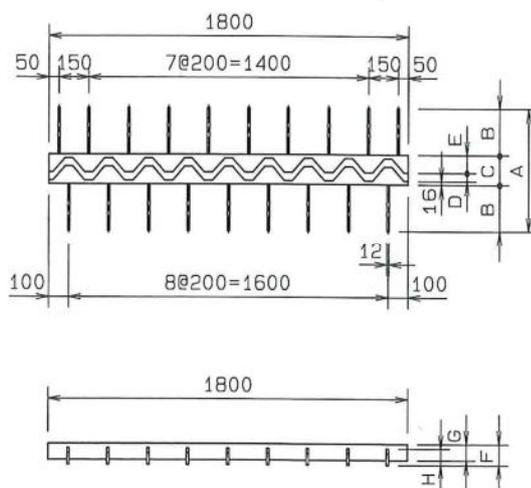
メタルジョイントYC型

YC-20, YC-30, YC-40, YC-50, YC-60, YC-70, YC-80

取付断面図



製品図



型式	許容伸縮量 (mm)	重量 (kg/1.8m)	A	B	C	D	E	F	G	H	L1	L2	許容最大床版遊間 (mm、最低温度時)
YC-20	0~20	64.5	442	180	82	20	46	70	60	50	83.5	119	72
YC-30	0~30	73.4	457	180	97	25	56	70	60	50	86	119	92
YC-40	0~40	82.6	472	180	112	30	66	70	60	50	88.5	119	112
YC-50	0~50	111.2	527	200	127	35	76	90	70	70	91	139	132
YC-60	0~60	121.6	542	200	142	40	86	90	70	70	93.5	139	152
YC-70	0~70	149.6	557	200	157	45	96	100	80	80	96	139	172
YC-80	0~80	161.4	572	200	172	50	106	100	80	80	98.5	139	192

●注記：上記寸法は標準温度時における値です。

秩父 秩父産業株式会社

中部支店

〒468-0055 名古屋市天白区池場1-910

TEL:052-804-1611 FAX:052-804-1612



FOR HUMAN & ECOLOGY

アールコ株式会社

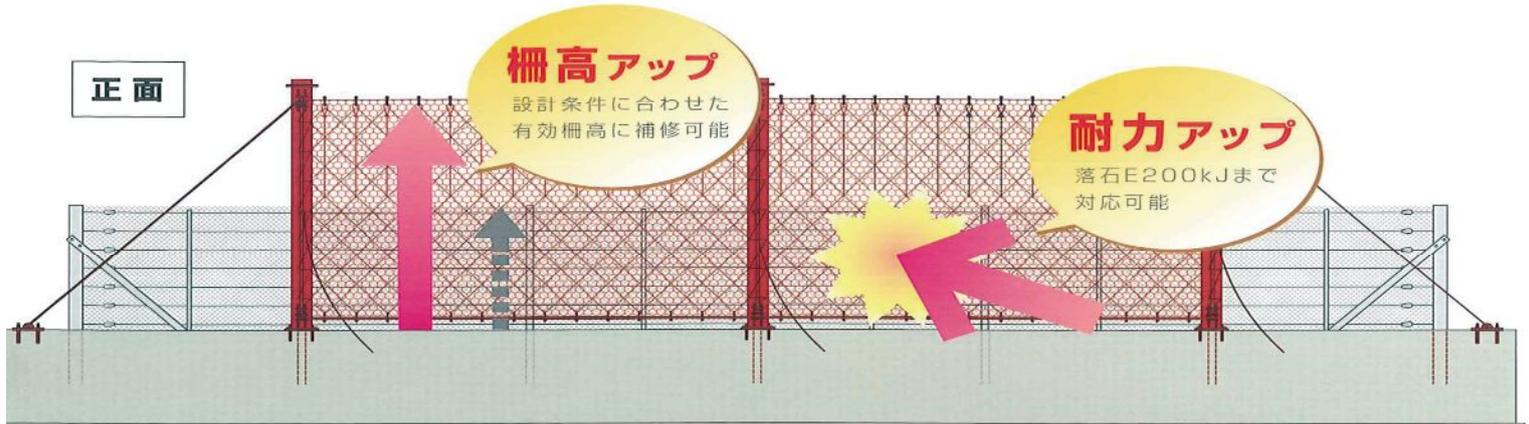
〒514-0004 三重県津市半田160番地

TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880

再強 SAIKYO FENCE フェンス

- 既設落石防護柵補強工法 -

既存の社会資本をそのまま有効利用して
低コストで施設の性能向上を実現!



正面

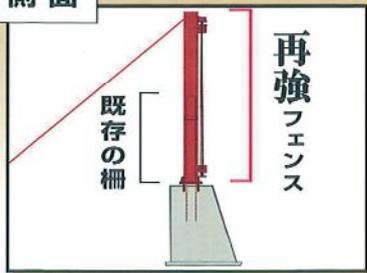
柵高アップ

設計条件に合わせた有効柵高に補修可能

耐力アップ

落石E200kJまで対応可能

側面



再強フェンス

既存の柵

既設落石防護柵補強工法「再強フェンス」は、柵高・耐力不足を補完しなければならない落石防護柵に高耐力の支柱と吸収性能の優れた緩衝装置付ワイヤーメッシュパネル及び二重燃線亀甲金網を取り付けることにより、既設の落石防護柵の性能向上を目的として開発された工法です。

工法の比較

従来の「撤去・新設」による対策では...

コンクリート擁壁上の既設落石防護柵の柵高不足や耐力不足に伴って撤去・新設を行う工事では、擁壁を取り壊す時に破片や粉塵の飛散が懸念されます。また、新しい擁壁を設置する場合はコンクリートの打設が必要となり、**工期が長く高コスト**になります。既設の落石防護柵の背面に柵を新設する際も同様に、コンクリート打設と掘削土処理が発生し、**工期が長く、コストが高くなります**。

再強フェンスなら...

- 既設の落石防護柵をそのまま利用するため、材料費の削減が可能に
- 撤去工事が不要いため、施工費が抑えられます

施工フロー

支柱建て込み工



1. 準備工

準備工では、支柱端部控えアンカーおよび支柱山側控えアンカーの位置出しを行います。

2. アンカー工

端部支柱控えアンカーおよび支柱山側控えアンカーの削孔、グラウト注入、確認試験を行います。

※既設落石防護柵の支柱の状態に応じて、支柱山側控えアンカーの設置を検討します。

3. 支柱建て込み準備工

既設落石防護柵のガードケーブルおよび金網を緩めて、補強支柱を建て込む準備をします。

4. 調整モルタル工

現場状況に応じて補強支柱を設置する台座の高さをモルタルで調整します。

5. 支柱建て込み工

既設落石防護柵の支柱に補強支柱を被せて、支柱鋼管内部にモルタルを充填します。

6. ワイヤーロープ設置工

ワイヤーメッシュパネルを連結するための上辺、底辺および縦外辺ワイヤーロープと、アンカーロープを設置します。

7. ワイヤーメッシュパネル設置工

施工手間を短縮するため、予め金網を結合したワイヤーメッシュパネルを設置します。

8. 仕上げ

緩めておいた既設落石防護柵のガードケーブルと金網を復旧します。

ワイヤーメッシュパネル設置工



仕上げ

